

# 前期学校評価の集計結果から

7月、1学期終了時に実施しました前期の学校評価アンケート。学校運営協議会で意見をいただくことはまだこれからですが、集計結果から分かること等紹介いたします。

また、2学期の教育活動のできることから結果を踏まえた見直しや改善等、進めていきたいと思えます。

※ 集計結果の全容については、別紙 学校評価集計結果をご覧ください。

## 【学校に関わること】

- ・昨年度から阿武町小中3校で共通し育てたい心や力として「きづく」「きめる」「かかわる」「やりぬく」を掲げ、3校で足並みを揃えて指導を行っているということを周知ができていない。
- ・学校が「積極性と表現力をチーム福賀で」を重点取組事項として進めていることは、かなり知られ、協力しようという意識を持った人が増えてきている。

- ・家庭学習の習慣が身につく指導を引き続き進めていかななくてはならない。
- ・読書習慣が身につくように、読書について意識を高める取組を考えて行くとよい。
- ・学校行事の見直しを「積極性と表現力の育成」というフィルターを通して行っていることを伝える必要がある。
- ・よい姿勢で学習するよう指導しなければならない。

## 【家庭に関わること】

- ・早寝・歯みがき等の習慣が身につけていないことが気になる
- ・家での手伝いにもっと取り組むようになってほしい、

- ・家庭学習の習慣が身につけていないことを保護者も感じている。
- ・放課後や休日に外遊びをするようになってよい。
- ・家でももっと本を読むようになってよい。

## 【地域に関わること】

- ・子供の姿を目にする機会が少ない。
- ・「積極性と表現力をチーム福賀で」という重点取組事項が浸透しつつある。
- ・子ども達が、もっと地域の人々の名前と顔が一致するようになっていくとよい。

- ・子ども達が、あまり慣れていない人（地域の人）でも自分の感情を素直に表現できるようになるとよい。
- ・地域の人との交流に偏りがあるようなのでもっと多くの人（特に長く福賀に住んでいる人）の力を借りるとよい。



# 学校運営協議会で協議されたことについて

9月30日（金）

第3回学校運営協議会を開き、  
前期の活動の報告と  
前期評価の結果を踏まえて、

委員の皆さんから

これから取り組んでいくべき  
たくさんのご意見をいただきました。  
この紙面にて報告させていただきます。

## 【児童に関わること】

### ●子どもたちの姿を見ることが少ないという課題について

- ・学校にもっと足を運ぶ機会を作るとよい。
- ・11月29日の「選書会」のイベントを大々的に宣伝し、子どもたちと触れ合う機会を増やす。
- ・コロナ禍縮小していた学校行事以外の行事を復活させて、地域の大人と児童がふれあう機会を増やすと良い。

### ●家庭学習に進んで取り組んでいないのではないかという課題について

- ・どの子も提出できているのなら第1段階はクリアしているのではないか。それを認めてあげよう。

- ・家庭学習については、地域でできることは少なさそうなので、学校と家庭で連携してやって欲しい。

### ●慣れない人の前で力が発揮できないという課題について

- ・公民館の活動では、意識して子ども達が人前で話す機会を設けている。
- ・大人も、近所の子どもと話すとき、つい質問攻めにしてしまう。大人も慣れていないと思う。
- ・子どもの方に、大人を質問攻めにする経験をさせたらどうか？
- ・一般に授業公開をする等もっと機会を増やす。
- ・児童が大人に授業をする経験させたら良い。

## 【学校運営に関わること】

### ●来年度学級数が減ることについて

- ・学校運営協議会として、阿武町教育委員会に対して必要以上学級数が減らないように、3学級体制をなるべく維持するよう要望を行うこととする。

### ●ふるさと学習等、地域や人に偏りがあるのではないかという意見に対して ↗

- ・確かに若く新しい人に偏っているかもしれない。地元の人をという意見も、新しい人を巻き込むべきという意見もある。バランスが大事。

### ●教員数・家庭数が減ると、2回の環境整備作業では足りないのではないかという意見に対して

- ・学校の現状や思いが伝わってない。まずどんな状況で何をしたいか伝えるべき。
- ・地域としては依頼されれば協力する気持ちはある。